

4歳児クラス 7月 第2回 「およぐ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：「みんなは泳げるかな？どうして人間は泳げるのかな」等質問して「この本を読むとわかるよ」等でお話に繋げる。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「じゃばーん」「ざぶーん」「すーいすい」など、擬音を取り入れていきいきと表現する。 ②登場人物と一緒に泳ぐ練習をしながら参加型で読み進める ③お話の最後に絵本の表紙と裏表紙を広げ、男の子が泳いでいる姿を見せてお話を終える。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> ・会話をする 	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	表現	まねっこ遊びや息止め等を楽しむことができる	
設問		みんなで泳ぐ真似（即応動作）をしましょう。犬かき、平泳ぎ、クロールなどの真似をして身体を動かしましょう。また、何秒息を止められるか「よーいどん」の合図でみんなで楽しみましょう		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 講：「お友達上手に泳げて凄いね！！皆も泳いでみようか」 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「それでは！ただいまより第1回パレット水泳大会を行います」「みんなでがんばろう！！」等で盛り上げて始める。 「まずは準備運動です」等で安全面に配慮しながらクラスの様子に合わせて行う。 「それでは第1の競技！犬かき競争です！誰が一番上手かな」等で、平泳ぎ・クロールも同様に行い楽しむ。 上手な子がいたら前に出てきて発表するのよよい。 息止めは何秒止められるか等、安全面に配慮しながらクラスの様子に合わせて楽しく行う。 称賛して終了する。 			保育士の役割
				<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に楽しむ ・安全面の配慮 ・子どものフォロー ・称賛
活動②	ねらい	実験	実験を通して「予想→実験→結果」のプロセスを楽しむことができる	
設問		水に浮くものと沈むものの実験をしましょう。水を入れた水槽に具体物を入れ、浮くか沈むか実験をしましょう		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 講：その場でサッと着替えて「やあやあみなさんこんにちは、私は実験博士じゃ」実験博士登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「今日はこれを使って実験するぞ」等で、水槽や具体物を提示。 ※子ども達によく見えるようにフォーメーションを考える。 ・P1に描かれている物を1つずつ水槽に入れて実験する。 ・具体物を見せて、浮くか沈むか自分の考えを言う。 ・全員で「じっけん！」と声をそろえて言い、具体物を水の中に入れる。 ※予想(浮くか沈むかを各自で考える)→実験(実際に試してみる)→結果(実際にどうだったかを改めて確認する)の一連の流れが大切です ・答えが合っていた、間違っていたということばかりにとらわれ過ぎないように配慮する。 ・時間があればお部屋にある他の具体物も使って実験する。 ・1円玉はゆっくり置くと浮きますが、ポンと入れると沈みます。ティッシュは始め浮きますが時間が経つと沈みます。事前にいろいろ試しておきましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 透明ケース（水槽等） ペットボトル 割り箸 スーパーボール ビー玉 1円玉 石 乾いたタオル
				保育士の役割

活動③	知識	浮く沈むを理解して答えに印をすることが出来る	
設問	水に浮くものはどれでしょう。また、水に沈むものはどれでしょう 浮くものには○、沈むものには△をつけましょう		教材
設問	・講：「浮いたり沈んだりの実験楽しかったね」		P 1 鉛筆 赤鉛筆・ハンコ
活動内容	・講：「そうだ！おうちの人にも教えてあげたいから、浮くものに○、沈むものに△の印をつけておこう！」プリントを配布。(浮くもの赤○・沈むもの青○等でも良い) ・鉛筆配布し名称を確認し始める。 ※シナリオでは活動③にプリントを入れていますが、実験の前に「予想」でプリントを行う形でも良い。または実験をしながら1つずつ予想と結果を記入する形でもよい。但し、答えが合っていた、間違っていたということばかりにとらわれすぎないように配慮する。		保育士の役割 ・プリント配布 ・子どものフォロー ・称賛

数チャレ	数	多い方を指差すことが出来る	教材
設問	7対6どちらが多い？		おはじき 皿
活動内容	・おはじきが7個入った皿と6個入った皿を見比べて多い方を指さす。		保育士の役割 ・皿の提示 ・子どものフォロー ・称賛

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	参加型(実際にやってみながら)で読み進めることが出来たか
活動①表現	子ども達が楽しく参加出来るよう、大きく体を動かして表現見本を行えたか
活動②実験	考える(予想)→やってみる(実験)→わかった(結果)の大切さを指導するための実験が出来たか
活動③知識	印(○△等)の指示と書き方指導も行えたか
数チャレ(7:6)	理解出来ない子どもの対応の仕方を保育士と事前打ち合わせ時に行ったか

楽習タイム♪

*** テーマ・実験***

ためしてみよう！

1. お水を溜めたお風呂やプールに、洗面器等の容器を逆さまにして中に水を入れないように沈ませて、水中で一気にひっくり返すとどうなる？ →「ぶくっ」と空気が飛び出すのがお驚きです。
2. タオルに空気を入れながら水中に入るとどうなる？ →ブクブク細かい泡が出る様子が楽しめます。
3. いろいろなものを水中に入れて浮かぶか沈むか実験する。
※安全面に気をつけながら、大人も一緒になって楽しんで下さい。

沈めて沈めて...
どうなるかな？
ブクブク...

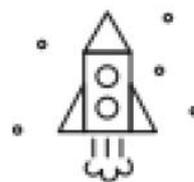


やってみなければ分からない事はたくさんありますよね。大人から見るといたずらでも、子どもにとっては実験です。探究心を伸ばしてあげましょう。



今月のえかきリズム

*** ロケット***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

